

令和元年度第1回日本NP学会総会

日 時 令和元年11月16日(土) 13:00 ~ 13:30

場 所 日本教育会館一ツ橋ホール

－ 次 第 －

1. 理事長 挨拶

2. 議 事 (議長 福永理事長)

- (1) 平成30年度日本NP学会事業報告及び決算等について (資料1～2)
- (2) 会則の一部改正について (資料3)
- (3) 役員を選任(追加)について (資料4)

3. 報 告

- (1) ブロック活動について (資料5-1～5-4)

4. その他

- (1) 2020年度第6回日本NP学会学術集会について (資料6)

資料1 : 平成30年度日本NP学会事業報告・決算(案)

資料2 : 平成30年度監査報告書

資料3 : 会則改正(案)

資料4 : 役員選任(案)

資料5-1 : 日本NP学会ブロック活動報告 北海道・東北ブロック

資料5-2 : 日本NP学会ブロック活動報告 関東ブロック

資料5-3 : 日本NP学会ブロック活動報告 中部・関西ブロック

資料5-4 : 日本NP学会ブロック活動報告 中国・四国・九州ブロック

資料6 : 第6回日本NP学会学術集会について

添付1 : 日本NP学会役員名簿

添付2 : 日本NP学会会則

2018（平成30）年度日本NP学会事業報告

1 役員及び会員の状況

理事長	1名
副理事	2名
理事	16名
監事	3名
会員	372名（平成31年3月31日現在）

会 員 種 別	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	増 減
正会員（個人）	178人	231人	329人	352人	23人
学生会員（個人）	31人	41人	56人	19人	37人
賛助会員（個人）	－	1人	1人	1人	0人
賛助会員（団体）	1団体	1団体	0団体	0団体	0団体
名 誉 会 員	－	－			－
合 計	209人 1団体	273人 1団体	386人	372人	14人

2 会議等

1) 第1回日本NP学会理事会（メール稟議）

日時：2018年7月13日（金）

- （1）2017年度事業報告・決算
- （2）2017年度会計監査報告
- （3）2018年度事業計画書（案）・収支予算書（案）
- （4）日本NP学会会則

2) 第2回日本NP学会理事会

日時：2018年11月23日（金）17：00～18：20

場所：東北文化学園大学5号館2階 第2会議室

- （1）日本NP学会 任期満了に伴う次期理事・監事選出について
- （2）2019年日本NP学会事務局業者委託について
- （3）日本NP学会学会誌編集投稿規程等について
- （4）第7回学術集会開催について
- （5）ブロック活動について

3) 第1回日本NP学会総会

日時：2018年11月24日（土）12：00～12：20

場所：東北文化学園大学 大講義室

- （1）日本NP学会 任期満了に伴う次期理事・監事選出について

- (2) 2017年度日本NP学会事業報告及び決算等について
- (3) 2019年度 日本NP学会事務局業者委託について
- (4) 日本NP学会学会誌編集投稿規程等について
- (5) 新理事長・副理事長紹介 指名理事承認

3 学術集会の開催

1) 第4回学術集会

2018年11月23・24日（金・土）東北文化学園大学（宮城県）

参加者数 417名

大会長：渡邊 隆夫（東北文化学園大学）

テーマ：「地域医療のパラダイム・シフト診療看護師(NP)の更なる前進へ」

(1) 理事長講演 「診療看護師 (NP) の更なる前進へ」

草間 朋子（東京医療保健大学 副学長）

(2) 招請講演「特定行為を終了した看護師による新たな医療改革」

田林 暁一（仙台青葉学院短期大学）

(3) 大会長講演 「医療におけるパラダイム・シフトと診療看護師 (NP)」

渡邊 隆夫（東北文化学園大学・日本NP学会第4回学術集会大会長）

(4) パネルディスカッション

テーマ：災害医療をどう支えるか

演者：樋口 秋緒・野島 弘基・坂田 愛・薄井 美穂・庄山 由美・高以良 仁

(5) 教育講演

① 「呼吸器感染症診療のパラダイム・シフト」

渡辺 彰（東北文化学園大学 医療福祉学部 抗感染症薬開発研究部門）

② 「活動の成果を研究へ ～アウトカム研究のABC～」

塚本 容子（北海道医療大学 臨床看護学講座）

(6) ランチョンセミナー4件

① 「PCPS の原理と適応・管理」

川本 俊輔

② 「医師と協働した創傷管理」

深井 照美

③ 「高齢腎不全患者の管理と 看護師を中心とした地域連携」

森 建文

④ 「自然災害とバイオレンス」

塚本 容子

(7) ワークショップ6件

① 「ペースメーカー管理」

栗田 康生（国際医療福祉大学大学院）

前田 明子（杏林大学医学部付属病院）

②「救急対応」

志賀 隆 (国際医療福祉大学三田病院)

③「PICC ハンズオン」 (ハンズオン)

西條 文人 ・武藤 満完 (東北労災病院)

④「NPWT」 (ハンズオン)

⑤「グラム染色」 (ハンズオン)

平岩 卓 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

⑥ (ハンズオン)

遠藤 智之 (東北医科薬科大学病院)

(8) 研究発表 (一般口述・ポスター) の発表が行われた

2) 第5回学術集会

大会長: 岩本郁子 (東京医療保健大学)

主 幹: 東京医療保健大学

会 期: 2019年11月16日(土)

会 場: 日本教育会館

3) 第6回学術集会

大会長: 黒澤 昌洋 (愛知医科大学看護学部)

主 幹: 愛知医科大学

会 期: 2020年10月17日(土)～18日(日)

会 場: 愛知医科大学

4 「日本NP学会誌」の発刊

1) 創刊号の発行

2018年5月、11月

2) 平成2018～2020年度編集委員

(委員長) 栗田 康生 国際医療福祉大学大学院

(委 員) 岩本 郁子 東京医療保健大学大学院

高田 美由紀 JCHO 千葉病院

井手上 龍児 聖マリアンナ医科大学病院

加藤 恵美 公益社団法人地域医療振興教会練馬光が丘病院

5 ブロック活動

1) 北海道・東北ブロック

①第2回 北海道NP研究会 総会・研修会

日時: 2018年6月4日

場所: 北海道医療大学サテライトキャンパス

テーマ: 便秘と不眠のマネジメント 症状アセスメントから初期対応まで

2) 関東ブロック

①日本NP学会 関東ブロック診療看護師(NP)研究会

日時: 2018年8月4日(土)

〔資料1〕

場所：国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス

テーマ：「診療看護師（NP）と特定行為」

プログラム：

シンポジウム 「特定行為研修終了者と診療看護師（NP）」

特別講演 「診療看護師（NP）は診療報酬をどう獲得するべきか」

3) 中部・関西ブロック

①日本NP学会中部関西診療看護師(NP)研究会 第2回学術集会・総会

日時：2018年8月4日(土)

場所：京都医療センター新棟4階、多目的ホール

テーマ：「～診療看護師（NP）としての活動実績を「つくり」「つたえ」よう～」

②NPアドバンスセミナー

日時：2019年3月30日(土)

場所：独立行政法人国立病院機構京都医療センター 大会議室

テーマ：「感染症の疑問・難問を解決！ 感染症カンファレンス」

講師 志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 救急集中医学 教授）

4) 中国・四国・九州・沖縄ブロック

①中国・四国 診療看護師(NP)研究会

日時：2018年12月15日(土)

場所：呉医療センター・中国がんセンター4階(外来棟) 地域研修センター第1・2

テーマ：「診療看護師としての役割と未来」

教育講演 「救急領域における気道管理と人口呼吸」－酸素の流れに沿って見る救急疾患－

講師：岩崎 泰昌（呉医療センター・中国がんセンター/救急部部長）

活動報告・症例発表

Hand on セミナー

「末梢挿入式中心静脈カテーテル(PICC)の挿入から管理まで」

②第3回九州診療看護師(NP)研究会 学術集会・総会

日時：2019年2月16日(土)

場所：大分県立看護科学大学 講堂

テーマ：「時代のニーズに応える 診療看護師(NP)のフィールド多様性」

特別講演：「拡大する診療看護師(NP)の活躍を支える基盤づくりと方策－社会ニーズに応えるために－」

講師：村嶋 幸代（大分県立看護科学大学学長/東京大学名誉教授）

教育講演：「糖尿病新時代に応える FGM(Flash Glucose Monitoring) の展望」

講師：小寺 隆元（社会医療法人小寺会 佐伯中央病院 副院長/NP 指導医）

2018(平成30)年度日本NP学会決算見込書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

歳入の部

(単位:円)

収入科目	本年度 予算額	決算額	差引 増減	備 考
会 費	900,000	2,154,000	△ 1,254,000	個人会員 5,000円×227名 1,135,000 円
				8,000円× 1名 8,000 円
				学生会員 3,000円× 16名 48,000 円
				賛助会員 個人 1,000円× 1口 1,000 円
				H29年度不足分 2,000円× 3名 6,000 円
				H31年度分 個人会員 5,000円×186名 930,000 円
				H31年度分 個人会費一部 2,000円× 1名 2,000 円
H31年度分 学生会員 3,000円× 8名 24,000 円				
寄付金	0	0	0	第4回学術集会 0 円
学術集会準備金戻り	300,000	300,000	0	H30年度分 300,000 円
諸 収 入	238	40	198	銀行利息 40 円
小計(A)	1,200,238	2,454,040	△ 1,253,802	
繰越金	4,880,762	4,880,762	0	
合計(B)	6,081,000	7,334,802	△ 1,253,802	

歳出の部

(単位:円)

支出 細科目	本年度 予算額	決算額	差引 増減	備 考
管理費	会議費 60,000	0	60,000	会場費(理事会) 0 円
				(総会) 0 円
				入会受付 お弁当 @1,000×2個 0 円
	報酬 18,000	12,000	6,000	入会受付(学術集会会場にて) 3,000円×2名 6,000円×2名 12,000 円
	旅費 238,000	289,500	△ 51,500	学会参加 事務局2名分 237,130 円
				事務局委託のための打合せ 事務局1名分 52,370 円
	印刷製本費 80,000	60,480	19,520	封筒印刷代 角2×1000枚 長3×1000枚 60,480 円
	支払手数料 10,000	5,328	4,672	印刷製本、消耗品等 5,328 円
郵送料 50,000	59,225	△ 9,225	切手購入等 59,225 円	
広報費 50,000	0	50,000		
事務用消耗品費 20,000	2,649	17,351	ファイル、ゴム印等 2,649 円	
HP制作・管理費 180,000	126,360	53,640	バナー広告掲載システム導入費 108,000 円	
			サーバー使用料・ドメイン維持費用 18,360 円	
			HP更新手数料 円	
事務委託費 278,000	278,000	0	人件費 20,000円×12ヶ月 240,000 円	
			施設使用料 38,000 円	
公租公課 1,000	5	995	利子源泉税 5 円	
事業費	次年度学術集会 準備助成金 300,000	300,000	0	H31年度 学術集会準備金 300,000 円
				会議費・消耗品・振込手数料・郵送料等
	学会誌 675,000	476,712	198,288	インターネットジャーナル組版代Vol.2-1 79,812 円
インターネットジャーナル組版代Vol.2-2 70,200 円				
編集委員旅費 16,116 円				
郵送料 1,844 円				
事務用品(プリンター、スキャナー、インク、用紙等) 308,740 円				
ブロック活動 貸付金 200,000	50,000	150,000	ブロック活動費 50,000円×1ブロック 50,000 円	
予備費	3,921,000	0	3,921,000	
小計(C)	6,081,000	1,660,259	4,420,741	
繰越金(D)	0	5,674,543	△ 5,674,543	次期繰越金
合計(E) (次期繰越を含む)	6,081,000	7,334,802	△ 1,253,802	

〔資料1〕

*1) 平成30年度分には過年度分も含む

年度末に翌年度の会費納入案内を行う。よって、3月末に令和元年度分として入金があった年会費を前受金として決算収入に計上

平成30年度 会費収入 1,198,000円

平成31年度 会費収入 (3月末現在) 956,000円

*2) 入会受付を学術集会2日目のみ行ったため @6,000×2名

*3) H29年度第2回理事会においてブロック活動費として、各ブロックに5万円を貸し付けることが決定したが、ブロックの口座連絡があったのが中部・関西ブロックのみ

<単年度収支> $2,454,040 - 1,660,259 = 793,781$ 収支差額 = A - C

<次年度繰越額> $7,334,802 - 1,660,259 = 5,674,543$ D = B - C

2018（平成30）年度日本NP学会監査報告

監査報告書

日本NP学会 平成30年度会計および理事の職務の執行の監査について、次のように報告します。

1. 監査の方法および内容

監事間の協議により、監査方法を定めた上で監査を実施しました。


具体的には、理事会およびその他の重要な会議に出席し、議事録の点検を行い、当学会の理事および事務局から職務の執行状況について説明を受け、また、説明を求めました。


2. 監査の結果

- (1) 事業報告および会計報告とその付属明細書は、会則に従い、当学会の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の執行に関し、不正の行為または会則に違反する重大な事実はありません。

令和元年5月25日

日本NP学会

監事 田中 留伊 

監事 村嶋 幸代 

監事 渡邊 孝 

日本NP学会会則の一部改正について

1 会則改正内容

第9章として「委員会」を設ける。

2 会則改正理由

日本NP学会の会務執行のため委員会の設置に伴うもの。

3. 会則新旧対照表

新	旧
<p>第8章 (現行のとおり)</p> <p>第9章 委員会</p> <p><u>第23条 本会には、会務の執行のために、理事会の決議により、委員会を置くことができる。</u></p> <p><u>2 委員会の委員は、理事会の決議を経て理事長が任命する。</u></p> <p><u>3 委員会の任務、構成及び運営に関して必要な事項は、理事会の決議により別に定める。</u></p> <p><u>現行会則第9章以下を各1章各1条ずつ繰り下げる。</u></p> <p>附則</p> <p>第1条 本会則は、平成27年6月1日から施行する。</p> <p>第2条 改正後の本会則は、平成28年11月26日から施行する。</p> <p>第3条 本学会事務局を東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 株式会社 毎日学術フォーラム内に置く。改正後の本会則は、平成31年4月1日から施行する。</p> <p><u>第4条 改正後の本会則は、令和元年11月16日から施行する。</u></p>	<p>第8章 学会誌</p> <p>第22条 学会誌は年1回以上発行する。</p> <p>2. 学会誌を発行するために編集委員会を置く</p> <p>3. 編集委員長は理事長が任命する。</p> <p>第9章 会計</p> <p>第23条 本会の費用は、会費その他の収入をもってこれに充てる。</p> <p>。</p> <p>附則</p> <p>第1条 本会則は、平成27年6月1日から施行する。</p> <p>第2条 改正後の本会則は、平成28年11月26日から施行する。</p> <p>第3条 本学会事務局を東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 株式会社 毎日学術フォーラム内に置く。改正後の本会則は、平成31年4月1日から施行する。</p>

役員を選任（追加）について

新任（理事）

樋口 秋緒（医療法人北農会恵み野訪問看護ステーション「はあと」）

（敬称略）

ブロック活動について

北海道・東北ブロック

北海道NP研究会活動報告

2019.11.07

平成30年度 日本NP学会北海道ブロック 北海道NP研究会活動実績

活動日時・場所	活動	参加人数 (人)	内容
2018年 6月16日(土) @札幌	第2回 総会	16	規約改正承認・役員選出 平成29年度活動報告、平成29年度会計報告 平成30年度事業計画(案)承認、平成30年度活動予算(案)承認
	第3回 研修会	22	目的：便秘、不眠の診断アルゴリズムを作成し、臨床の症状マネジメントに活用する 1. 事例提示：便秘 2. 事例提示：不眠 3. アルゴリズムの検討・グループワーク
2018年 8月25日(金) ～26日(土) @喜茂別町	地域医療 見学研修	8	目的：喜茂別町における地域医療のシステムとその実践活動を見学し、小規模自治体における地域医療の課題に対する理解を深める 研修場所 北海道虻田郡喜茂別町(人口2400人) 1. 施設見学 1) 喜茂別町健康増進センター 2) 喜茂別町立クリニック 3) 特別養護老人福祉施設 きもべつ喜らめきの郷 4) 喜茂別町ふれあい福祉センター 2. 講話 喜茂別町菅原町長、坂本保健師(喜茂別町役場 健康推進課係長) 3. 意見交換会 喜茂別町立クリニック院長 藤原昌平医師を囲んで
2018年 11月23～24日 @仙台	日本NP学会 学術集会		・学会運営委員会幹事・当日手伝いとして参加 ・口演 地域におけるNP活動・研究会・勉強会・研修活動 「北海道NP研究会の活動」発表：石角
2018年 12月8日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	2	目的：プロフェッショナル職能集団として、被災地(被災者)の社会貢献活動を行う 北海道胆振東部地震の被災地である北海道勇払郡むかわ町の被災地ボランティアとして、仮設住宅の町民を中心に定期的な訪問ケアを行う
2019年 1月26日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	3	
2019年 1月27日 @札幌	第4回 研修会	11	目的：NPとして必要な臨床アセスメント能力を養う テーマ：「脱水のアセスメント」 独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター 印銀 里給予 医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院 増田 陽介
2019年 2月9日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	3	
2019年 3月16日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地 健康支援 ボランティア	4	
2019年 4月20日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	4	
2019年 5月11日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	3	
2019年 6月8日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	3	
2019年 6月27～ 7月1日 @シンガポール	国際看護学会	2	NPアウトカム研究の研究発表のため学会参加(樋口秋緒、石角鈴華) Akio Higuchi, et al. The Effectiveness of NP provided Medication Management Program at Home Health Care in Japan.
2019年 7月13日 @むかわ町	胆振東部地震 被災地健康支援 ボランティア	2	

北海道・東北ブロック

東北NP研究会活動報告

2019年5月18日

第13回東北NP勉強会 「地域医療の中でのカンタキと訪問看護」

講師：佐藤理枝（医療法人モクシン HOC カンタキ）

2019年8月24日

第4回東北NP研究会学術集会・総会

大会長：渡邊隆夫（東北文化学園大学大学院教授）

メインテーマ 「新時代における診療看護師（NP）の創造」

2019年8月24日

2019年度東北NP研究会夏季セミナー

PICC（株式会社メディコン）

グラム染色（株式会社アオバサイエンス）

創傷管理（ケーシーアイ株式会社）

2019年11月

第14回東北NP勉強会 「リアルガチ！！NP 苦悩カンファレンス」

講師：酒井博崇（藤田医科大学病院）

関東ブロック活動報告

1. 報告者 関東ブロック長 忠 雅之
2. 日時 2019/8/8 (土) 13:00-17:00
3. 場所 国際医療福祉大学大学院 赤坂キャンパス
4. 参加者 計 153 名
5. 開催内容 第3回日本NP学会関東ブロック研究会
6. 要旨

大会長：忠 雅之（独立行政法人国立病院機構東京医療センター）

- ① シンポジウム
- ② 教育講演
- ③ 総会

7. 詳細事項

シンポジウム

「チーム医療で活躍する診療看護師-パッケージ化された特定行為領域の視点から-」

座長：

川崎竹哉（独立行政法人国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センターNP）

佐藤浩美（東京女子医科大学八千代医療センターNP）

演者：

栗田康生（国際医療福祉大学大学院准教授）

山本英世（医療法人はなまる はなまる在宅クリニック在宅療養支援診療所 院長）

川村知也（独立行政法人国立病院機構東京医療センターNP）

戸田泉（医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院NP）

八尾智恵子（河北ファミリークリニック南阿佐ヶ谷 河北訪問看護所長 NP）

教育講演

「診療看護師（NP）が知っておくべき感染症～来るべき東京オリンピック・パラリンピックに向けて～」

座長：五十嵐真里（国際医療福祉大学 教員）

講師：矢野晴美先生（国際医療福祉大学 医学教育統括センター教授）

- ④ 日本NP学会関東ブロック診療看護師（NP）研究会総会

会則の見直し、都・県毎に集まっての会合

8. 所見

この度第3回の研究会を執り行った。各県代表とも定期的な定例会を開催し、多角的側面からも需要がある内容を組み込んだ。総会ではメーリングリスト作成のために都、県毎に集まりディスカッションを実施。メーリングリスト作成をし、よりNP同志のつながりが深まり、地域毎の集まりを提供することができた。

9. その他 活動報告

2019/7/6 埼玉NP会 埼玉に在住するNPの会発足

今後このような県レベルで執り行う会が増えていければいいと思います。

中部・関西ブロック活動報告

- ① 愛知医科大学 大学院看護学研究科セミナー
日 時：2018年6月30日(土) 13:30～17:00
場 所：ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)
テーマ：「急性期医療と在宅医療をつなぐ特定行為研修修了者の役割」

- ② 日本NP学会中部関西診療看護師(NP)研究会 第2回学術集会・総会
日 時：2018年8月4日(土) 13:30～17:30
場 所：国立病院機構京都医療センター
テーマ：「診療看護師(NP)としての活動実績を『つくり』『つたえ』よう」
大会長：山口壽美枝(大阪医療センター 診療看護師)

- ③ 第1回櫻下会NP研究会
日 時：2018年12月2日(日) 14:00～16:15
場 所：藤田医科大学
講 演：「NPハワイ研修を通して今後の診療看護師(NP)を考える」
講師：酒井 博崇(藤田医科大学保健衛生学部 講師)

- ④ NPアドバンスセミナー
日 時：2019年3月30日(土) 13:30～16:00
場 所：国立病院機構京都医療センター
テーマ：「感染症の疑問・難問を解決！感染症カンファレンス」
講師：志馬 伸朗(広島大学救急集中治療医学 教授)

中国・四国・九州ブロック活動報告

理事 4名

本田和也（長崎医療センター） 塩月成則（佐伯中央病院）

甲斐博美（大分県立看護科学大学） 廣瀬福美（鶴見の太陽）

監事 1名

村嶋幸代（大分県立看護科学大学）

1. 九州地区

九州診療看護師(NP)研究会 第3回学術集会

研究会長 本田 和也 大会長 塩月成則

テーマ：時代のニーズに応える 診療看護師（NP）のフィールド多様性

日程：平成31年2月16日（土） 14:30-18:05

会場：大分県立看護科学大学 講堂

参加者：101名（NP:33名、看護師24名、教育関係8名、医師：7名、看護管理7名、薬剤師3名、
検査技師2名、その他には、厚生労働省、看護協会、記者、企業団など）

内容：大会長講演、一般口演（2部構成6題）、特別講演、教育講演、研究会長講演

九州診療看護師（NP）研究会 第3回総会・親睦会

研究会参加費 1000円 親睦会会費 1000円

九州診療看護師（NP）研究会 年会費 3000円

次回、九州診療看護師（NP）研究会 第4回学術集会

開催予定日 2020年2月1日（土）

会場：独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター

2. 中国・四国地区

中国四国ブロック診療看護師研究会

日時：令和元年9月21日 13:30~17:30

会場：松江赤十字病院

参加者：6名 Web参加3名

内容：臨床推論 運営会議、情報交流

会費なし

現状：中四国ブロックとして独立できていない。

第6回日本NP学会学術集会について

第6回日本NP学会学術集会

大会長：黒澤 昌洋（愛知医科大学看護学部）

副大会長：伊藤 美佳（地域医療機能推進機構中京病院）

森 一直（愛知医科大学病院）

会 期：2020年10月17日（土）～18日（日）

会 場：愛知医科大学

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1-1

TEL. 0561-62-3311（代表）

(添付1)

2019年度日本NP学会役員名簿
(任期：第2期2018年11月～2021年総会終結時)

学会役職	氏名	所属	所属役職	
理事長	福永 ヒトミ	日本医科大学武蔵小杉病院	看護部 看護部長	
副理事長	塚本 容子	北海道医療大学	教授	
副理事長	岩本 郁子	東京医療保健大学	准教授	
北海道・東北	理事	渡邊 隆夫	東北文化学園大学	教授
	理事 (修了生)	渡辺 美和	中垣内科小児科医院	看護室 看護師長
	理事 (修了生)	石川 ちさと	公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院	看護部救急科 診療看護師(NP)
関東	理事 (修了生)	忠 雅之	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	診療部脳神経外科 診療看護師(NP)
	理事 (修了生)	本間 由希	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	統括診療部救急科 診療看護師(NP) 看護師長
	理事 (修了生)	五十嵐 真里	国際医療福祉大学大学院	助教
	理事	栗田 康生	国際医療福祉大学	准教授
	理事 (修了生)	猪野 智佳	医療財団法人健貢会総合東京病院	診療部看護師
中部・関西	理事	阿部 恵子	愛知医科大学看護学部クリティカルケア看護学	教授
	理事 (修了生)	森 一直	愛知医科大学病院	看護部麻酔科 診療看護師(NP)
	理事 (修了生)	酒井 博崇	藤田医科大学医療科学部臨床看護研究センター	講師
	理事 (修了生)	山口 壽美枝	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	診療部チーム医療推進室 診療看護師(NP)
	理事 (修了生)	伏見 直記	市立川西病院	内科 診療看護師(NP)
中国・四国・九州	理事 (修了生)	本田 和也	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	脳神経外科 診療看護師(NP)
	理事 (修了生)	塩月 成則	佐伯中央病院	看護副部長(診療) NP診療室長 (総合診療・救急麻酔科系)
	理事 (修了生)	廣瀬 福美	介護老人保健施設鶴見の太陽	副施設長
	理事	甲斐 博美	大分県立看護科学大学	助教
監事	田中 留伊	東京医療保健大学	教授	
監事	渡邊 孝	藤田医科大学医学部心臓血管外科	客員教授	
監事	村嶋 幸代	大分県立看護科学大学	理事長	

日本NP学会会則

平成31年4月1日

第1章 総則

第1条 本会は日本NP学会 (Japan Society of Nurse Practitioner) という。

第2条 本会の事務局は、東京都千代田区に置く。

第2章 目的

第3条 本会は、診療看護師 (NP) の実践・教育・研究活動を通して、人々の生活と健康に寄与することを目的とする。

第3章 事業

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一、学術交流を目的とする学術集会の開催
- 二、学会誌等の発行
- 三、診療看護学の探求および診療看護師 (NP) の質向上に必要な教育、調査及び研究
- 四、関係団体との連絡及び協力
- 五、その他、本学会の目的を達成するのに必要な事業

第4章 会員

第5条 本会の会員は次のとおりとする。

- 一、正会員 (個人)
- 二、学生会員 (個人)
- 三、賛助会員 (個人、団体)
- 四、名誉会員

第6条 正会員とは、診療看護学 (論) および診療看護師 (NP) の実践・教育・研究活動に関心のある個人で、本会の目的に賛同し所定の入会手続きを行い、理事会の承認を得た者をいう。

2. 正会員は、総会に出席し、議決権を行使することができる。
3. 正会員は、学会誌に投稿し、学術集会で発表し、学会誌等の配布を受けることができる。
4. 学生会員は、全ての大学院で学んでいる者をいう。

第7条 賛助会員とは、本会の目的に賛同し、本会の事業を支援するため所定の入会手続きを行い、理事会の承認を得た者または組織をいう。

2. 賛助会員はオブザーバーとして総会に参加することができる。
3. 賛助会員は学会誌の配布を受けることができる。

第8条 名誉会員とは、本会の発展に多大な貢献をした者で、理事長が推薦し理事会の承認を得た者とする。

2. 名誉会員は総会に出席し意見を述べるることができる。
3. 名誉会員は学会誌の配布を受けることができる。
4. 名誉会員は会費の納入を必要としない。

第9条 本会に入会を認められた者は、別に定める年会費を納入しなければならない。

2. 既納の会費は、理由のいかんを問わず、これを返納しない。

第10条 会員は次の理由により、その資格を失う。

- 一、退会
- 二、会費の滞納 (1年間)
- 三、死亡または失踪

(添付2)

四、除名

2. 退会を希望する会員は、退会届を理事会へ提出しなければならない。
3. 本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に著しく反する行為のあった会員は、理事会の議を経て理事長がこれを除名することができる。

第5章 役員

第11条 本会に次の役員を置く。

- 一、理事長 1名
- 二、副理事長 2名
- 三、理事 16名
- 四、その他、理事長が指名した理事2名以内
- 五、監事 3名

第12条 役員を選出は次のとおりとする。

- 一、理事（前条四に定めるものを除く）及び監事は、総会において正会員の中から選出する。
- 二、理事長および副理事長は理事の互選により選出する。
- 三、理事長は、本会の運営を円滑に図るため、正会員の中から2名以内の理事を指名できる。

第13条 役員任期は3年とし、再任を妨げない。

2. 任期途中で交替した役員任期は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は、その任期満了後でも、後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

第14条 役員は次の職務を行う。

- 一、理事長は本会を代表し会務を総括する。
- 二、副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故があるときはこれを代行する。
- 三、理事は理事会を組織し、会務を執行する。
- 四、監事は理事の職務の執行および本会の会計、資産を監査する。

第6章 会議

第15条 本会に理事会をおき、次の職務を行う。

- (1) 総会の開催に係る事項
- (2) 規則の制定、変更及び廃止
- (3) 事業計画及び収支予算に係る事項
- (4) その他理事長が必要とする業務執行の決定

第16条 理事会は、理事長がこれを招集し、その議長となる。

2. 理事会は年1回以上開催する。ただし、理事の3分の1以上から請求があったときは、理事長は臨時にこれを開催しなければならない。
3. 理事会は理事の過半数の出席を以て成立する。
4. 理事会の議事については議事録を作成し、議長及び出席した理事のうち議長が指名する理事1名が、これに署名押印する。

第17条 総会は、理事長がこれを招集し、その議長となる。

2. 総会は、正会員数の10分の1以上の出席がなければ開催することができない。ただし、委任状をもって出席とみなすことができる。
3. 通常総会は、年1回開催する。
4. 臨時総会は、正会員の5分の1以上から請求があったとき、および理事会が必要と認めるとき理事長が招集して開催しなければならない。

(添付 2)

5. 総会の議事については議事録を作成し、議長及び出席した理事のうち議長が指名する理事1名が、これに署名押印する。

第 18 条 総会は次の事項を議決する。

- 一、役員を選任
- 二、会則の変更
- 三、事業報告及び収支決算に関する事項
- 四、その他理事長または理事会が必要と認める事項

第 19 条 総会における議事は、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところとする。

第 20 条 本学会の事業を推進するために必要があるときは、委員会、地方研究会を設置することができる。

2. 委員会、地方研究会に関する必要な事項は理事会において、別に定める。

第 7 章 学 術 集 会 等

第 21 条 学術集会会長（以下、大会長という）は、理事会で正会員の中から選出し総会の承認を得る。

2. 大会長の任期は 1 年とする。
3. 大会長は学術集会を主宰する。
4. 必要に応じ委員会、分科会を持つことができる。

第 8 章 学 会 誌

第 22 条 学会誌は年 1 回以上発行する。

2. 学会誌を発行するために編集委員会を置く
3. 編集委員長は理事長が任命する。

第 9 章 会 計

第 23 条 本会の費用は、会費その他の収入をもってこれに充てる。

2. 本会の予算及び決算は、予算にあつては理事会の、決算にあつては総会の承認を受け、学会ホームページに掲載しなければならない。

第 24 条 本会の会計年度は各年 4 月 1 日にはじまり翌 3 月末日をもって終わる。

第 25 条 学術集会の費用は、学術集会参加費をもって充てる。ただし、その決算報告は理事会において行う。

第 10 章 会 則 変 更

第 26 条 本会則の変更は、理事会の議を経たのち総会の承認を得る。

2. 前項の承認は、第 19 条の規定にかかわらず出席者の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

第 11 章 雑 則

第 27 条 この会則に定めるもののほか本会の運営に必要な事項は別に定める。

附 則

第 1 条 本会則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

第 2 条 改正後の本会則は、平成 28 年 11 月 26 日から施行する。

第 3 条 本学会事務局を東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 株式会社 毎日学術フォーラム内に置く。

改正後の本会則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

日本 NP 学会会則実施細則

第1条 この実施細則は、日本 NP 学会会則第30条に基づき、日本 NP 学会の運営に必要な事項を定める。

第2条 本会の会費

- 一、正会員（個人） 5,000 円/年
- 二、正会員（学生） 3,000 円/年
- 三、賛助会員（団体） 一口10,000 円/年 以上
- 四、賛助会員（個人） 一口1,000 円/年 以上

第3条 事務局は、理事長の承認を得て、業務の一部を外部業者に委託することができる。

第4条 学術集会の大会長は、次の事項を企画・運営・実施する。

- 一、学術集会の形式
- 二、演題の選定及び座長の選出
- 三、その他学術集会の運営に関すること

第5条 編集委員会は、学会誌の編集及び発行を行う。

1. 編集委員会は、理事会で選出された次の委員をもって組織する。
 - 一、理事 2名以上（編集委員長を含む）
 - 二、編集委員 3名以上
2. 委員の任期は3年とし、再任は妨げない。
3. 投稿規定は、別に定める。

第6条 地方研究会は次のブロックごとに設置することができる。

北海道・東北ブロック、
関東ブロック、
中部・関西ブロック、
中国・四国・九州ブロック

2. 地方研究会役員は会員の互選により選出する。

第7条 本細則の変更は、理事会の議を経て決定する。

附則 この実施細則は、平成27年6月1日から施行する。